

兵庫 県
保険医協会

西宮 支部 ニュース
芦屋

No. 345

2018・12・15

〒662-0832

発行 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部
西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内
連絡先 兵庫県保険医協会
電話〇七八(三九三) 一八〇三

リスクマネジメント研究会 (感想文)

院内調査は黙秘権との関係で慎重に対応を

医療事故調査制度の注意点を解説

西宮・芦屋支部は9月8日に西宮市立勤労会館でリスクマネジメント研究会を開催。「医療事故調査制度施行から3年・医療事故の現状と対応」産科医療補償制度の原因分析報告書の現状と問題点にも触れて、テーマに、大阪市・白水法律事務所の高橋万貴子弁護士が講師を務め、医師・メデイカルスタッフら18人が参加した。司会を務めた西宮市・半田医院院長 半田伸夫先生の感想文を掲載する。

リスクマネジメント研究会が、この会のアドバイザーである鶴飼弁護士をお招きして、9月8日西宮市立勤労会館にて開催された。その内容を要約する。

医療事故調査制度が2015年より開始された。改正医療法にて、「病院、診療所又は助産所の管理者は医療事故が発生した場合、遺族に説明し、医療事故調査支援センターに報告しなければならない」としている。もちろん医療事故の定義もされている。この制度は、「医療安全を確保するために医療事故再発防止を目的とする」、ものである。遺族は院内調査開始以前には医療事故調査支援センターに調査は請求できない。

医療事故後の院内調査は、必ずしも第三者の参加は義務付けられていないが、支援



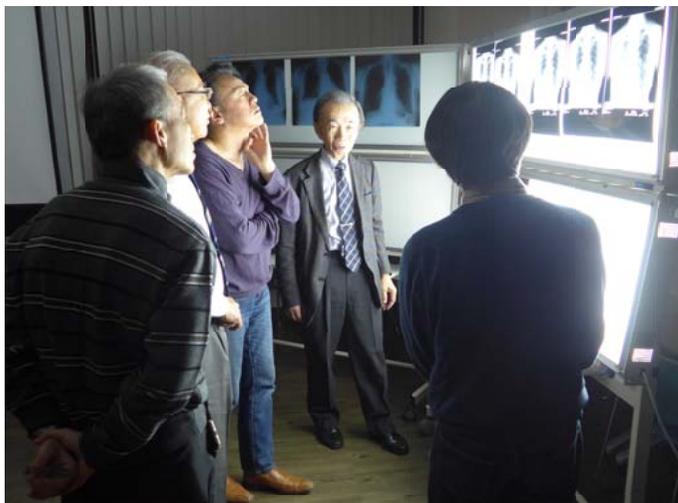
医療事故調施行から3年目の現状について学ぶ参加者



事故調の問題点を語る鶴飼先生

第18回胸部X P読影会

レントゲン画像を囲んで活発に意見交換



持ちよったレントゲン画像をもとに参加者全員で討議した

西宮・芦屋支部は11月2日に西宮渡辺心臓・血管センターで、第18回胸部X P読影会を開催。原秀樹先生(尼崎市・はら内科クリニック)が講師、橋野盛彦先生(西宮市・橋野医院)が司会を務め、医師5人が参加した。

参加者は日々の診療で撮影した胸部レントゲンの画像を持ち寄り、画像から読み取れる疾患について討議。慢性咳嗽、肺腺がん、肺炎、非結核性抗酸菌症、結核性肺炎と思われる症例など、様々な事例について検討した。

参加者からは「どの程度の陰影があれば確定診断をつけられるか」「レントゲン撮影はどのタイミングで行うべきか」など質問も多数出され、講師や参加者が自らの経験に基づいて意見交換した。

支部忘年会のご案内

日時 12月29日(土) 午後6時~
場所 『木曾路』西宮店 0798-33-0050
※阪神西宮駅から北へ徒歩5分または、JR西宮駅から西へ徒歩10分
会費 7,000円
※当日徴収し、領収書を発行します
定員 30人 (先着順・事前申込制)
※お申し込みは、協会事務局 078-393-1840まで



【西宮市・半田医院 半田伸夫】

センターはそれを望むことがある。調査は診療録などの記録の確認、当該医療者などのヒアリングを行うとある。この案件が刑事事件に発展する場合には、当該医療者のヒアリングが、憲法38条の「何人も自己が刑事上の責任を問われる恐れのある事項について供述を強要されないことを保障する」に抵触する可能性に注意が必要。

産科補償制度においても、調査結果が刑事事件捜査の発端となる事例もあった。医療事故かなと疑ったら兵庫県医師会などの支援協力機関に相談することをお勧めする。医療事故裁判の証拠をよく用いられる添付文書の禁忌記載に関しても、あくまで保険内使用に関する禁忌であること、使用による危険と有益性に関して、個々の例には当てはまらないこともあること、また、ガイドラインはマニュアルではないなどの議論があり、きわめて有意義な講演であった。

英語で診療 Medical English #52 (感想文)

こぼれ話も含め楽しく学べた勉強会

西宮・芦屋支部は10月19日に西宮医療会館で「Medical English #52」を開催。「Periodontal disease of diabetics」Teeth cavities in childhood Ⅱ 糖尿病患者の歯周病、子どもの虫歯Ⅱをテーマに、Robert Conroy氏が講師、坂尾福光先生(西宮市 さかお内科・消化器内科)が司会、藤森隆史先生(西宮市・藤森歯科クリニック)がアドバイザーを務め、医師・薬剤師ら12人が参加した。参加いただいた矢野めぐみ氏の感想文を掲載する。



今回もConroy氏(右)が講師、坂尾先生(左)が司会を務めた

神戸・岡本にて2018年4月に開院した歯科で、受付助手をしております。今回は歯科英語という事で、初めてメディカルイングリッシュの勉強会に参加させて頂きました。

実際に参加してみると、内容の実用性と、参加者皆様のレベルの高さに驚かされました。事前に予習用のデータを頂いていたことや、講師のMr. Conroy、坂尾先生がとても丁寧に、優しく教えてくださったことで、不安なく、集中して勉強することができました。



歯科領域の英会話についてロールプレイ形式で学ぶ参加者

した。また、医療英語だけでなく、日本語英語と実際の英語らしい発音の違いなどのこぼれ話も合間に教えていただけ、とても楽しい内容でした。

そして何より、独学では得にくい、ロールプレイングならではの、正しい発音を聞いてすぐに自分で実践してみられるという点が、非常に有意義だと感じました。

近年の訪日・在日外国人増加に伴い、海外からお越しの方にも安心して、快適に治療を受けて頂けるような態勢作りは、私どもの医院にとっても必須課題です。しかし、ただ専門用語を英語で覚えるだけではまったく十分とは言えず、また患者様の精神的なケアも含めて心のこもった対応をするためには、やはり独学では限界があり、このようなロールプレイング形式の勉強会を開いていただけることは、我々窓口対応をする者にとっても、非常にありがたいと感じました。

今後も研鑽を積み、よりよい医療現場作りに励みたいと思います。このような機会を与えていただき、ありがとうございます。

【岡本歯科ロコクリニック受付助手 矢野めぐみ】

世話人会だより

西宮・芦屋支部は、11月30日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。2人が参加した。

【報告】
① リスクマネジメント研究会 (9・8)

② 芦屋非核平和のつどい (10・13)

③ 英語で診療 Medical English #52 (10・19)

④ 第18回胸部X・P読映会 (11・2)

【予定・企画】

① 第7回ファイアアサイド デイスカッション (12・1)

② 支部忘年会 (12・29)

【協会・保団連行事】

① 第27回日常診療経験交流会 (10・28)

② 第94回評議員会・臨時決算総会・第41回共済制度委員会 (11・18)

③ 第33回保団連医療研究フォーラム (11・23～24)

*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

芦屋非核平和祈念のつどい

北東アジア非核化に向けた日本の役割を解説

芦屋非核平和のつどい実行委員会は、10月13日上宮川文化センターで「芦屋非核平和都市宣言33周年・被曝73周年 非核平和記念のつどい」を開催。市民ら60人が参加した。



市民ら60人が非核化に向けた日本の役割について学んだ

つどいでは、「日本国憲法から見る北東アジアの非核化」と題して、和田進神戸大学名誉教授が講演。南北首脳会談や米朝首脳会談により朝鮮半島の非核化に向けた取り組みが急速に進む中、憲法9条を有している日本こそが北東アジアの平和構築に向けた積極的な役割を果たすべき時であるとして強調した。

また、3歳の時に広島で被爆した柳生研太郎氏が、絵本『青い空』として出版された自作の紙芝居をもとに、自らの被爆体験や、ピースボートに乗船して各国で被爆証言を行った経験などを妻の加代子氏とともに語った。

つどいの最後には、核兵器禁止条約の早期発効を願うアピールが提案され、参加者全員で採択された。

このつどいは、1985年に芦屋市議会が非核平和都市宣言を決議したことを記念して市民主催で毎年開催されており、西宮・芦屋支部が実行委員会に参加している。